

日高小学校と静修小学校、合橋小学校と高橋小学校の統合

閉校式

3月25日（土）に、静修小学校と高橋小学校の閉校式を開催しました。

児童や保護者、地域の代表、学校運営でお世話になった方、先生方など、多くの方々に見守られながら、静修小学校は1879（明治12）年の創立から143年の歴史に、高橋小学校は1968（昭和43）年の創立から55年の歴史に幕を下ろしました。

式典の終了後には、地域やPTAの主催による閉校記念行事が行われました。児童による金管バンド演奏や合唱、これまでの歴史を振り返るスライドショーが上映され、なれ親しんだ母校との別れを惜しみました。



▲児童による金管バンド演奏（静修小学校）



▲コンサート & スライドショー（高橋小学校）

閉校式・記念行事の模様はYouTubeでご覧いただけます。



統合式

4月7日（金）に、日高と静修小学校、合橋小と高橋小学校の統合式を開催し、統合準備委員会の委員、地域の代表、学校運営でお世話になっている方などに出席いただきました。

日高小学校では新6年生のみが式典に参加して、その他の児童は教室のモニターで式典の様子を視聴し、合橋小学校では新2年生から新6年生までの児童が式典に参加しました。

式典では、それぞれ2名ずつの児童代表が「みんなで力を合わせて素晴らしい学校をつくっていきます」とあいさつし、新しい友達との学校生活がスタートしました。



▲児童代表あいさつ（合橋小学校）



▲児童代表あいさつ（日高小学校）

統合式の模様は、YouTubeでご覧いただけます。



統合後の学校の様子



▲授業参観の様子（日高小学校：6年生）



▲開拓団について学ぶ（合橋小学校：5・6年生）

4月の統合から約3か月が経ち、通学方法や人間関係など環境の変化がありました。前年度からの交流学習や合同の学校行事（自然学校など）で顔を合わせていたこともあり、徐々に新しい学校生活に慣れてきています。

それぞれの小学校では、地域資源を活用した郷土学習など、地域への想いや愛着が湧いて、お互いの地域の良さが実感できるような教育活動を計画しています。

合橋小学校では、旧高橋村から旧満州（現中国東北部）へ送り出された「大兵庫開拓団」について学ぶ機会を遠足の帰りに設けました。犠牲になった団員を悼む石碑「殉難者の碑」の前で、元団員の山下幸雄さん（90）から、開拓団送出に至った経緯や、実際に現地で見聞きされた貴重な体験についてお話を聞きました。

統合後の様子について先生に伺いました

- 初めてのバス通学、大きな校舎、児童数の多さに最初こそ驚いていた様子でしたが、1か月もすれば学校の雰囲気にもすっかり慣れ、新しい友達と明るい表情で話したり、活発に遊んだりしています。（日高小）
- 旧小学校の児童同士と一緒にいることが多い学年もありますが、授業や学校行事では協力して活動しています。休み時間も一緒に活動する増えてきており、仲良くスタート出来ています。（合橋小）
- 授業参観に来られた保護者から、「大人数のクラスになることに不安があったが、積極的に発表する姿や友達とかかわる様子を見て安心した」という感想がありました。（日高小）
- 長距離のバス通学に、はじめのうちは慣れない様子もありましたが、職員が同乗したり、地域の方や保護者の見守り協力もあって、落ち着いて乗り降りできるようになりました。（合橋小）

高橋認定こども園と合橋認定こども園の統合

【問合せ 幼児育成課 Tel.29-0053】

高橋認定こども園は、1968（昭和43）年4月に開園した高橋幼稚園と、1977（昭和52）年10月に開園した高橋保育園（当時は高橋へき地保育園）がひとつになって、2011（平成23）年4月に開園しました。



▲高橋認定こども園の思い出を発表

四方山々に囲まれ、自然豊かな環境に恵まれており、園外保育や川遊びなどたくさんの体験ができるこども園として親しまれてきましたが、2022（令和4）年度は園児数の減少により5月から休園し、年度末をもって閉園となり、合橋認定こども園と統合しました。

3月25日（土）に高橋小学校の閉校式と併せて閉園式を開催し、最後の卒園児となった1年生児童が、こども園での思い出を発表しました。